

# 令和2年度 7月補正予算総括表

(単位:千円)

会計区分		現計予算額	7月補正額	補正後予算額
一般会計		106,113,583	1,360,560	107,474,143
7月補正予算(一般会計)説明資料のとおり				
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	19,738,387		19,738,387
	国民健康保険(診療施設勘定)	29,520		29,520
	後期高齢者医療	2,253,908		2,253,908
	公設地方卸売市場事業	381,211		381,211
	整備墓地	33,451		33,451
	工業用地造成事業	953,807		953,807
	介護保険	18,933,628		18,933,628
	電気事業	53,390		53,390
	小計	42,377,302	0	42,377,302
企業会計	水道事業	4,623,324		4,623,324
	簡易水道事業	855,536		855,536
	御池簡易水道事業	177,435		177,435
	公共下水道事業	5,179,320		5,179,320
	農業集落排水事業	878,021		878,021
	小計	11,713,636	0	11,713,636
合計		160,204,521	1,360,560	161,565,081

# 令和2年度 7月補正予算(一般会計)説明資料

(単位:千円)

款	事業名	補正額	説明	
10 総務費	がんばろう都城！ふるさと応援券事業	1,046,414	がんばろう都城！ふるさと応援券事業に要する経費 ・地域における生活支援及び消費喚起を目的として、市内の登録店舗で使用できる商品券を発行するもの	<b>【緊急対策資料】</b> 3ページ (総合政策課)
15 民生費	ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業	307,630	ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業に要する経費 ・児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等に給付金を支給するもの	<b>【緊急対策資料】</b> 4ページ (こども課)
	ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事務費	6,516	ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事務に要する経費 ・給付のための事務費	
合計		1,360,560		

# 新型コロナウイルス感染症緊急対策

## 【第4弾】

令和2年7月1日

宮崎県都城市

# 本市の考え方・対応

## ①感染防止フェーズ

○市内における感染防止対策を実施！

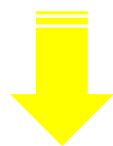
## ②緊急支援(感染防止・生活支援・事業支援)フェーズ

○国・県の対応に先行して、市独自の対策を実施中！

○国の各種施策については、国の補正予算成立後、本市の関連予算を編成し、速やかに実施中！（特別定額給付金の早期支給等）

○新型コロナウイルス感染症の影響等について、引き続き情報を収集し、状況に応じた対策を実施！

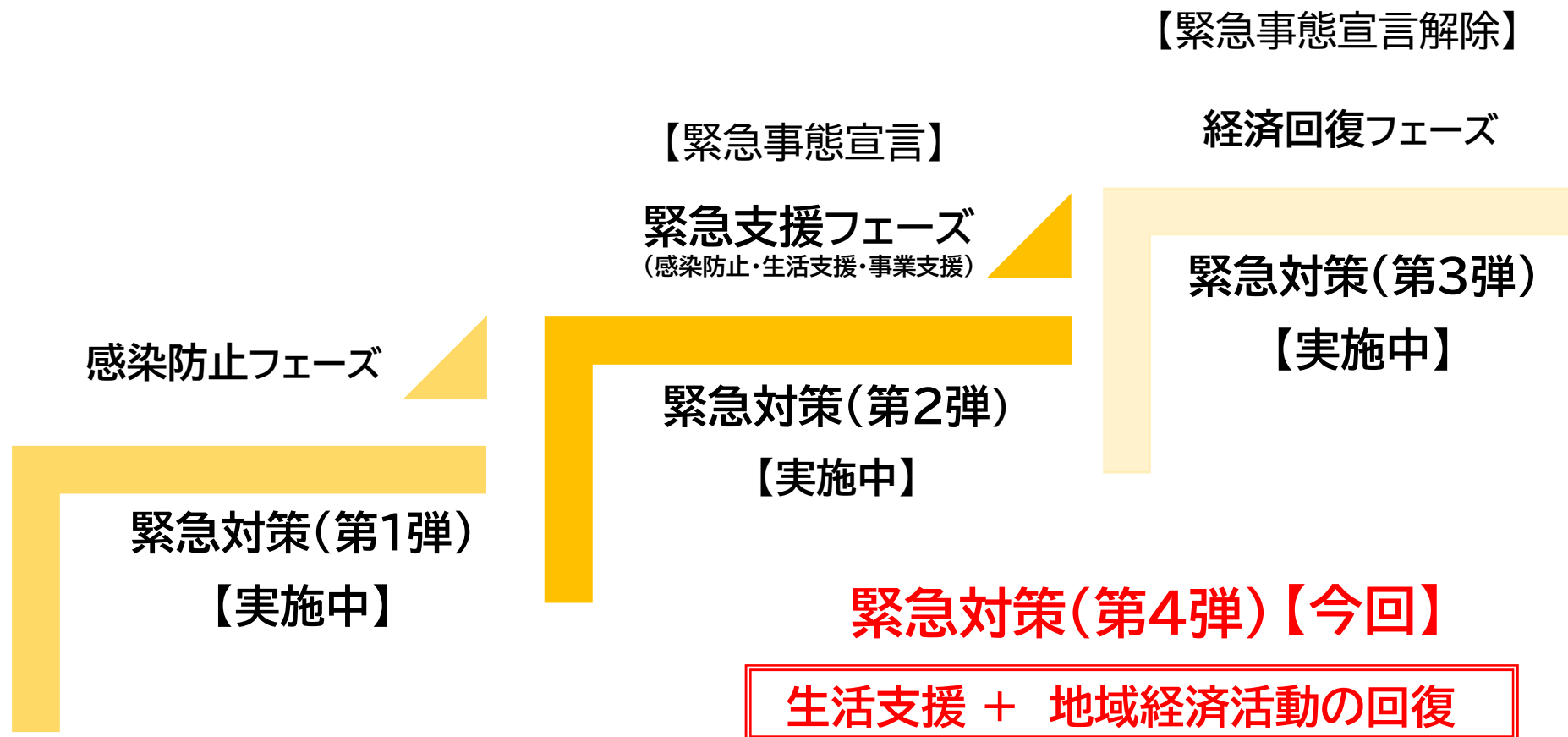
○感染防止対策を確実に実施した上で、地域経済活動の回復に向けた対策も実施！



## ③経済回復フェーズ



緊急事態宣言の解除及び「新しい生活様式」の定着に向けた国や県の方針等を踏まえ、**感染防止・生活支援・事業支援の更なる徹底と地域経済活動の回復**の両立を図る！



※今後も状況に応じた対策を実施予定

## 緊急対策（第4弾）

### 生活支援 + 地域経済活動の回復

がんばろう都城！ふるさと応援券事業…10億4,641万円 **市独自**

- ・ **全市民**に対し、「**がんばろう都城！ふるさと応援券**」(¥5,000)を交付！
- ・ **子育て世帯**に対しては、**子ども1人当たり¥5,000を上乗せ**して交付！

例 夫婦2人世帯 : 5千円×2セット=1万円  
 夫婦・子ども2人の4人世帯: 5千円×4セット+5千円×2セット=3万円



※ふるさと応援券イメージ

- ・ 地域における**生活支援及び消費喚起**を目的として、市内の登録店舗で使用できる**応援券**を発行！

対象者	住民基本台帳に記載された都城市民
発行	19万3,400セット（1セット:1,000円券5枚つづり） 市民1人当たり1セット（5,000円） 子ども（高校3年生以下※）は、1セット上乗せ ※平成14年4月2日以降に出生した者
利用店舗	市内の登録店舗
①交付方法 ②使用期間	①9月上旬（郵便による交付） ②交付の日～令和3年2月28日

## 緊急対策（第4弾）

### 生活支援

#### ひとり親世帯への臨時特別給付金… 3億1,415万円

- ・子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に臨時特別給付金を支給

支給対象者	支給額
<b>【児童扶養手当受給世帯等】</b> ① 令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けている者(8月支給・申請不要) ② 公的年金給付等を受けていることにより児童扶養手当の支給を受けていない者(9月以降支給・要申請) ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった者(9月以降支給・要申請)	1世帯5万円 第2子以降1人につき3万円
<b>【収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付(追加)】</b> 上記①・②の支給対象者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が大きく減少している者(9月以降支給・要申請)	1世帯5万円

## 【参考】これまでの本市の取組

緊急対策(第1弾)	1.5億円
緊急対策(第2弾)	184.6億円
緊急対策(第3弾)	11.6億円

## I 感染防止

### マスク・消毒液等の確保

- 児童福祉施設等へのマスク・消毒液・空気清浄機購入の補助
- 児童・高齢者福祉施設・医療機関等へのマスクの配布(26万枚)
- 妊婦、民生委員・児童委員へのマスクの配布(9万枚)
- 小中学校における感染防止対策
- 学校給食再開に向けての学校給食調理業者に対する衛生関係消耗品の支援

### 感染防止のための環境整備

- 都城夜間急病センター発熱外来事業
- 避難所における感染防止対策(屋内型テント等)
- 庁舎窓口への感染防止ビニールカーテン設置
- イベント中止に伴う公共施設の使用料の全額還付

### SNS・CATVを活用した情報配信

- 児童生徒応援プロジェクト(授業動画の配信・放送)
- 感染防止動画の配信 (ぼんちくんによる効果的な手洗い動画・手作りマスクの作り方動画 等)





# 【参考】これまでの本市の取組

## Ⅱ 生活支援

### 市民生活支援

- 特別定額給付金(国民1人あたり10万円を給付)

給付状況（令和2年6月29日現在）

	申請受理件数	給付件数	給付金額
全体件数	78,418件(98.5%)	78,377件(98.5%)	162億3,870万円
うちオンライン申請	6,076件	6,073件	14億8,700万円
うち郵送申請	72,342件	72,304件	147億5,170万円



【特別定額給付金で市民生活を支援】

## 【参考】これまでの本市の取組

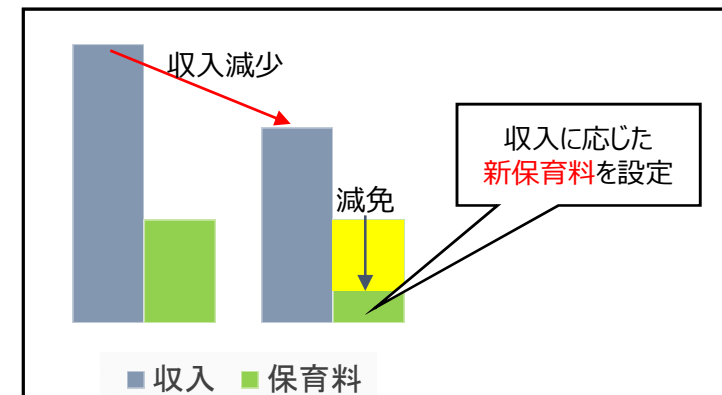
### Ⅱ 生活支援

#### 子育て世帯支援

- 子育て世帯臨時特別給付金（児童手当受給世帯を対象として子ども1人につき1万円を給付）
- 臨時休業期間における放課後児童クラブの開設
- 臨時休業期間における学校での児童の受入
- 本市独自基準による保育料等減免支援

#### 収入減少世帯支援

- 市税・上下水道料金の猶予、市営住宅家賃の猶予・減免措置
- 住居確保給付金
- 介護保険料・国民健康保険税の減免
- 傷病手当金の支給（国民健康保険）



【本市独自基準による保育料等の減免】

## 【参考】これまでの本市の取組

### Ⅲ 事業支援

#### 事業継続・資金繰り支援

- がんばろう都城！事業者支援金  
(売上減少事業者に事業全般支援金20万円を給付)
- がんばろう都城！事業者支援金の拡充(市内に事業所を有する個人事業者を新たに対象)

【がんばろう都城！事業者支援金の交付状況（令和2年6月29日現在）】

受付件数	交付決定件数	振込件数	振込金額
3,820件	3,405件	3,076件	6億1,520万円

- セーフティネット4号・5号、危機関連保証の利子補給(追加も実施)
- 農家支援のための経済変動・伝染病対策資金の利子補給(追加・拡充も実施)
- 肥育牛経営安定支援(枝肉価格が低下している肥育農家を支援)
- 農林畜産物加工緊急支援事業
- 中小企業等相談・サポート体制強化事業(土業連携)

## 【参考】これまでの本市の取組

### Ⅲ 事業支援

#### 新たな取り組み支援

- 飲食店応援プロジェクト(テイクアウト等の取組に5万円を支援)
- 飲食店の宅配やテイクアウト情報の特設サイトの開設
- 地場産品消費拡大事業  
(地場産品を復袋として本市公式オンラインショップで販売)

#### 雇用対策

- 企業等と人材のマッチング支援
  - ・「就職応援サイト」の開設
  - ・雇用コーディネーターによる「求職者」と「企業等」のマッチング支援



【飲食店の宅配・テイクアウトの取組を支援】

## 【参考】これまでの本市の取組

### IV 地域経済活動の回復

#### 消費喚起・下支え策

- 都城市プレミアム付商品券発行(プレミアム率30%の商品券を販売)
- 個人向けミートツーリズム事業(ミート券)をまずは宮崎県民限定でスタート

ミート券	オンライントラベル（じゃらんnet・るるぶトラベル）を活用し、本市への宿泊客にミート券（食事券）を配布
1人当たりの金額	3,000円（1,000円券3枚）
利用期間	令和2年6月19日から令和3年3月31日まで



## 「新たな生活様式」に対応した働き方を推進！ WEB会議をしやすい環境を整備しました！

当市は、新型コロナウイルス感染予防のため、県外への出張を控える、会議を書面開催にするなどの対応を取ってきました。

しかしながら、県外の事業者との協議が必要な業務があったり、書面開催では議論が深まらなかったりするなどの課題が生じたことから、昨年9月の「都城デジタル化推進宣言」に基づいた新たな取り組みとして7月1日（水）から、WEB会議システムを備えたウェブ会議室を開設しました。



当市では、「新しい生活様式」を実践するため、市民や関係機関が開催する会議などでWEB会議システムを積極的に活用していきます。

### ●システム構成

- ・ノートパソコン、モニター（43インチ）、集音マイク、スピーカー
- ・Zoomなど、WEB会議アプリケーションを活用

### ●システムの設置場所

- ・ウェブ会議室（市役所南別館旧警備室）

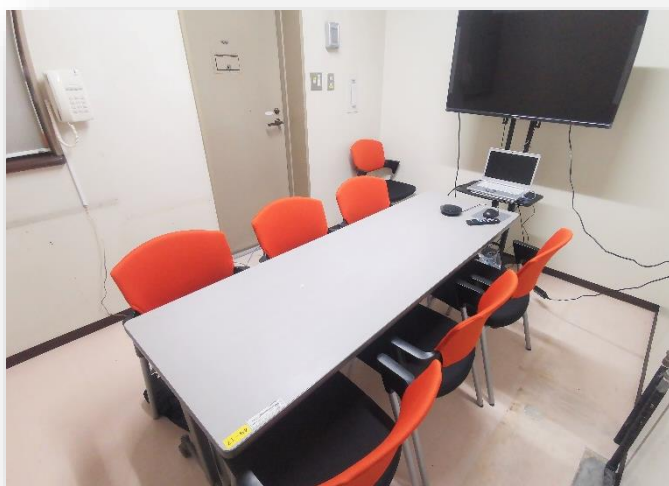
### ●システム導入のメリット

#### 【COVID-19への対応】

- ・外部との接触機会を無くすことで、職員の感染リスクと不安を解消
- ・感染拡大防止にかかる移動制限期間にあっても、スピード感のある事業展開が可能

#### 【その他】

- ・相手の顔や表情を見ながら協議できるので、コミュニケーションが取り易くなる
- ・会議等会場への移動がなくなり、時間を有効活用できる など



【問い合わせ】 総合政策課 電話：23-7161（直通）

## 総務省「デジタル活用支援員推進事業地域実証事業」 採択先候補に選定されました！



当市は、昨年9月の「都城デジタル化推進宣言」以降、さまざまな行政サービスのデジタル化を積極的に進めています。

その一方で、高齢者などから「ICT 機器やデジタル技術の活用が不安」との声が寄せられていたことから、高齢者などのデジタル技術の相談や学習を支援する「デジタル活用支援員」の活動とその実施体制等を検証する、総務省の「デジタル活用支援員推進事業地域実証事業」に応募。

6月23日、全国12採択先候補の一つに選定されました。

### ●募集团体：

市町村やICT系企業、情報系の高等教育機関、携帯電話販売店などが組織する協議会

### ●選定団体：

当市のほか、シフトプラス株式会社、学校法人コア学園、株式会社ケイディ商事の4者による協議会

### ◎協議会構成事業者

#### ・シフトプラス株式会社（都城営業所・上町）

Web制作、ふるさと納税管理などシステムソリューション開発・運用など

#### ・コア学園（吉尾町）

文部科学省「職業実践専門課程」認定校で、情報デザイン科\*設置

Webエンジニア、アプリエンジニア、ネットワークエンジニア等の育成など

※情報デザイン科は、令和3年度より「ICTエンジニア科」に改称予定

#### ・株式会社ケイディ商事（花繰町）

携帯電話販売、システムソリューション提供など

### ●主な支援内容

- ・スマートフォンの活用やキャッシュレス決済を学ぶ教室等を開催し、高齢者などのデジタル技術の活用を支援
- ・マイナンバーカード申請補助やマイナポイント申込支援
- ・相談会以外でも、随時、高齢者などの身近な場所でも支援

### ●アピールポイント

- ・コア学園の学生を中心に「支援員」を養成
- ・産学官連携による持続可能な支援体制を確立

### 【採択先候補】

総務省が委託した事業者との当該協議会の契約締結時点で、「採択先」となります

【問い合わせ】 総合政策課 電話：23-7161（直通）